



事業成長へ施策を継続しながら ステークホルダーの皆さまと対話を重ね、 社会課題の解決に取り組んでまいります。

サンデンホールディングス株式会社
代表取締役 社長執行役員
神田 金栄

サンデングループは、2018年、創業75周年を迎えました。1943年の創業以来、自転車用の発電ランプ、業務用冷凍・冷蔵ショーケース、自動販売機、カーエアコンシステム、カーエアコン用コンプレッサーと、「冷やす・あたためる」をコア技術として、皆さまに愛される製品づくりを心掛け、事業活動に邁進してまいりました。現在、23カ国・地域 53拠点にビジネスを展開し、世界中の一流のお客さまとお取引いただいております。これも、当社グループに関係されるステークホルダーの皆さまのご支援、ご協力の賜物と、厚く御礼申し上げます。

Shrink to Grow

当社グループでは、「環境から企業価値を創造する グローバル力と品質力を基礎に環境をコアにして次の成長を果たす」という経営方針を掲げております。「環境」をコアにした経営においては、メーカーとしての「技術開発」とあらゆる企業活動を通じた「社会貢献」が両輪となると考え、推進してまいりました。

しかしながら一方で、2016年度は構造改革関連費用やEU競争法にかかる課徴金等による特別損失が発生し、ステークホルダーの皆さまにご迷惑・ご心配をおかけしてまいりました。

このような状況において、当社グループが今後も持続的な成長を遂げていくためには、事業競争力の強化、財務体質の改善、そしてコーポレート・ガバナンスの再構築を図ることが、重要な経営課題であると認識し、次の成長に向けて確実に再起を図ることを目的に、「Shrink to Grow」というコンセプトの中期経営計画を2017年にスタートさせました。

中期経営目標 (2020年度連結ベース)

売上高	3,200億円
経常利益率	5%
株主資本比率	25%

4つの柱からなる重点施策

1 収益性向上に向けたコスト構造改革	調達構造改革
	生産性革新
	品質改革
2 財務体質強化に向けた資産効率改善	投資の選択と集中
	運転資本削減 ノンコア資産売却
3 企業価値創造に向けた事業ポートフォリオの適正化	環境成長領域への資源集中
	コーポレート・ガバナンスの強化
4 持続的成長に向けた経営システム革新	グローバル経営管理の強化
	意思決定システム改革

企業価値創造に向けた取り組みを推進

中期経営計画における経営目標は、2020年度において、売上高3,200億円、経常利益率5%、株主資本比率25%です。この経営目標を確実に達成するため、「コスト構造改革」「資産効率改善」「事業ポートフォリオの適正化」「経営システム革新」の4つの重点項目を柱として活動を進めております。

中期経営計画の進捗状況

1. コスト構造改革

拠点再編による効率化と生産性革新に取り組んでおります。多様化するお客さまのニーズにスピードを持って応えていくとともに、グループ全体でコスト削減を進めております。

2. 資産効率改善

事業競争力の強化を推進するためには、その基盤となる財務体質の強化が不可欠と考えております。2017年度においては、200億円以上のキャッシュ・フローを創出しました。

3. 事業ポートフォリオの適正化

今後の成長分野へ、限りある経営資源を最適に配分するという考え方にに基づき、住環境システム領域を中心とした製品の製造を終息することにいたしました。自動車機器事業、流通システム事業につきましては、特集ページ(P4-5) においてご紹介しております。

4. 経営システム革新

ガバナンスおよび経営の透明性向上を目的に、社外取締役を2名から3名に増員するとともに、任意である指名・報酬委員会を設置しました。さらに、ホールディングス組織のスリム化を行い、経営資源の最適化と併せて、事業会社への権限移譲を推進し、グローバルでの事業競争力強化を図っております。

ステークホルダーの皆さまとともに

当社グループは、中期経営計画の確実な達成を目指すとともに、今後はさらなる成長のためにESGの観点も積極的に取り入れてまいります。これまで以上に多くのステークホルダーの皆さまと対話を重ね、社会課題を解決し、皆さまの期待にお応えできるよう邁進していきたいと考えております。今後も是非、当社グループの活動に対する貴重なご意見、ご要望をいただければ幸いです。

引き続きのご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

企業理念体系

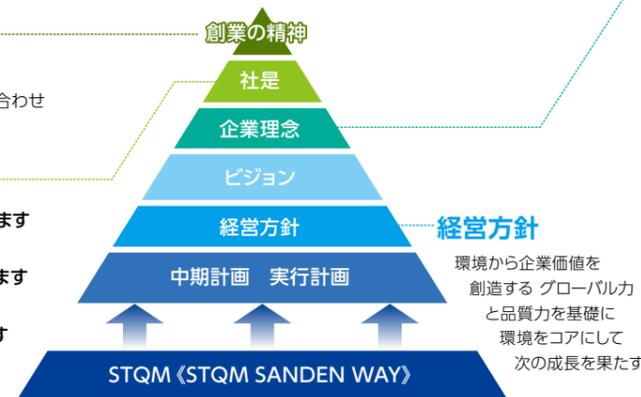
企業理念体系は、サンデンがグローバル・エクセレント・カンパニーズとして果たすべき企業および社員の行動の原点を体系化したものです。

創業の精神

知を以て開き 和を以て豊に
知力により開発・開拓し、みんなの力を合わせ
繁栄しようという意味です。

社是

- 一、顧客のためになるよい製品を作ります
 - 一、仕事を通じて社会福祉と文化の向上に寄与します
 - 一、自己啓発につとめ誇り高き会社の建設に努力します
- 会社創業以来の社員の行動基軸です。



企業理念

G-SDC (サンデングループ) は国の内外を問わず法令、国際ルールを遵守し、次の10原則に従い行動します。

基本原則 国際社会の中で 共感する普遍的 価値観	1. 良き企業市民、社会との調和	国際社会の一員として社会と調和し、社会から信頼される良き企業市民として成長していきます。
	2. 人権尊重	あらゆる人の尊厳と基本的人権尊重の精神に基づく企業文化を築きます。
	3. 環境	かけがえない美しい地球を次の世代の人々に引き継ぐために、企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動します。
	4. 企業倫理	高い倫理観のもと、誠実でフェアな企業活動を行います。
	5. 安全衛生	社員のゆとりと豊かさを実現し、安全衛生と健康に配慮した働きやすい環境を確保します。
ステークホルダー に対する 基本姿勢	6. お客様	技術開発とモノづくりを基本として、品質を第一に考え、常に世界中のお客様に満足される魅力のある製品、システム、サービスを提供します。
	7. 社員	挑戦と改革の企業文化を基本として、人間性尊重の精神に溢れた自由闊達な組織文化を築き、社員とともに成長していきます。
	8. 株主・投資家	会社を成長させ企業価値を高めるとともに、経営の透明性向上により、株主・投資家の信頼と期待に応えます。
	9. 地域社会	世界各地域の慣習や文化を尊重するとともに、地域社会の発展や文化の向上に貢献します。
	10. 取引先	取引先とは公正かつ透明な取引関係に基づき、お客様に対し最高の製品、システム、サービスを提供できるビジネスパートナーとして、ともに成長します。

Contents

トップメッセージ/ 企業理念体系	1
At a Glance	2
中期経営計画での取り組み Responsibly Creating Shared Value	4
サンデンのCSR活動	6
サンデンと環境	6
サンデンとお客さま	10
サンデンと取引先/ サンデンと株主・投資家	11
サンデンと社員	12
サンデンと地域社会	14
コーポレート・ガバナンス/ コンプライアンス	16
評価・意見	17

編集方針

サンデングループは、ステークホルダーの皆さまのかかわりや事業内容を分かりやすくお伝えするため、2005年から「サンデンCSR報告書」を毎年発行しています。本冊子は企業理念と経営方針に基づく基本的な考え方・取り組みを掲載したダイジェスト版です。Webにはより詳細なデータや最新の活動に関する情報を公開しています。

● 対象期間 2017年4月1日～2018年3月31日
活動や取り組み内容は2018年4月以降につきましても、できるだけ最新の動向をお伝えいたします。

● 対象範囲
本報告書は当社グループ(サンデンホールディングス株式会社と連結子会社および関連会社)を報告対象としていますが、一部の項目については個別に対象範囲を明記しています。

● 参考にしたガイドライン
環境省「環境報告ガイドライン2018」を参考にしています。